

かすみがうら

第123号
＜毎月1日発行＞

■発行所■
霞ヶ浦医療センター
かすみがうら編集局
〒300-8585
土浦市下高津2-7-14
Tel 029-822-5050
Fax 029-824-0494
E-mail & Web Site
kasumi@kasumi.hosp.go.jp
http://kasumi-hosp.jp/

耳鼻咽喉科のご紹介

耳鼻咽喉科医長 星野 朝文

平成24年4月から霞ヶ浦医療センターの耳鼻咽喉科(以下は耳鼻科と略します)に参りました星野朝文(ともふみ)です。当院の耳鼻科は数年前から非常勤体制でしたが、今回の私の赴任で常勤体制となり、週5日の診療が可能となりました。今まで地域の皆さんには「不便をかけるおりました」が、これからは「もつと気軽に受診していただければ」と思っています。



耳鼻科は、首より上(目・脳・歯を除く)の病気を診る診療科です。一般の耳鼻科クリニックでおなじみの中耳炎、アレルギー性鼻炎、扁桃炎などの病気を診ています。巷に言う「大きな病院」では、手術をしたり、悪性腫瘍の治療もしますが、肝心なのは病院の大きさではなく、

耳鼻科医の数が重要です。前任地の筑波大学附属病院では、耳鼻科医だけでも10人以上は行って、10時間以上もかかる手術も行っていきます。

また、大病院ほどの規模でなくても、常勤医が2〜3人以上いる病院では手術をしたり、悪性腫瘍の治療も行っています。当院は「大きな病院」ではありませんが、耳鼻科医は私一人であり、現在のところ手術やがん治療は行っていません。手術が必要だったり、悪性腫瘍(あるいは強く疑われる)の場合は、筑波大学附属病院などの適切な医療機関に情報提供を行って、連携をとっていきます。

すると、当院の耳鼻科の立ち位置としては、一般の耳鼻科クリニックと、いわゆる「大きな病院」の耳鼻科の中間的な存在と考えることができます。病院内に「めまい」の総合案内で「めまいでかかっている」と仰った方が、耳鼻科に案内されると、「はて？」と思われる方もまだまだいます。かといって、全てのめまいが耳鼻科の疾患かといわれると、そうでもありません。特に、急激にめまい

が起こり、頭痛、手足のしびれなどの多彩な症状を示す場合は、脳神経疾患のある病院への受診をお願いします。



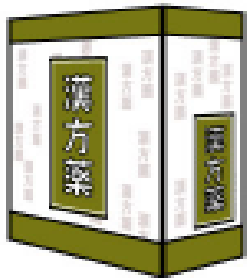
例えば、めまいです。最近はい

ンターネットやテレビなどの情報があり、「めまいは耳鼻科」というのが大分知られてきていますが、まだご存じでない方も多くおられます。病院の総合案内で「めまいでかかっている」と仰った方が、耳鼻科に案内されると、「はて？」と思われる方もまだまだいます。かといって、全てのめまいが耳鼻科の疾患かといわれると、そうでもありません。特に、急激にめまい

が起こり、頭痛、手足のしびれなどの多彩な症状を示す場合は、脳神経疾患のある病院への受診をお願いします。

また、急に顔の半分が動かなくなる「顔面神経麻痺」の症状も、耳鼻科医が診ます(施設によっては、脳神経外科、神経内科などが担当する場合があります)。これは、顔面神経という神経が内耳につながる神経と深くかかわることから、耳鼻科が担当することが多いのですが、まだまだ一般の方には知られていないようです。治療には、ステロイド剤、抗ウイルス剤を使うのが一般的ですが、重症度により通院治療で十分なのか、入院が必要になるかが変わってきます。当科では、重症の方には入院での治療を強く勧めています。

さて、私自身の診療の特徴としては、漢方薬を積極的に使用することにあります。通常のお薬で対応できない場合や、漢方の得意分野では漢方薬を処方します。昔は漢方薬といえば煎じ薬しかなかったのですが、今はエキス剤とい



てインスタントコーヒーのような粉末状のものが一般的です。通常処方するエキス剤は保険適応ですので、巷で言われているほど高額にはなりません。

最近ではNHKなどのテレビ番組でも漢方薬特集が組まれてきたり、と漢方薬が注目をされてきて、ご興味をお持ちの方もいらつしやるかもしれません。ただし、テレビや雑誌などはどれも「劇的に効く」ように見せていますが、あくまでメディア独自の演出も大きくかかわっていることをご理解下さい。

初めにお断りをさせていたたくと、漢方薬による治療でも、全ての人の対して、全ての症状を一樣に取り除くことは不可能だ、と私自身は思っています。特に、耳鼻科関連の症状としてめまい、耳鳴、

のどの違和感などは、通常の治療でも治療が困難です。

ただ、通常のお薬が効かない場合であっても、漢方薬を使うことで少しでも症状を和らげる可能性があれば、漢方薬を試してみる価値はあるかと思えます。その際に、症状以外のことを伺ったり、おなかを触診したりすることで、処方を選んだりすることがあります。ご興味をお持ちの方は一度ご相談ください。



<インフォメーション>

○電話予約の受付時間 (診療予約センターより)

電話番号 029-826-6471 (直通)
受付時間 平日 12時30分~16時まで

○MRI検査予約について (放射線科より)

当院では、MRI検査を休日に実施することができます。ご希望の方は、主治医にご相談ください。

○脳ドックのご案内 (放射線科より)

【土曜日・日曜日のみ実施しております!】

電話番号 029-822-5050 (代表)
(内線 3360)
料金 19,000円 (自費診療)

○禁煙外来のご案内 (呼吸器科より)

受付時間 水曜日: 13:30~ (完全予約制)
担当 呼吸器科医師 菊池 教大
費用 1クール通院5回 保険適応 (要件有り)
3割負担で合計6,500円程度
※初診もしくは3年以上受診がない場合は、別に3,150円掛かります。

ヘルニア外来について

外科医師 岡崎 雅也

【はじめに】

当院に赴任してちょうど一年になります。専門は一般消化器外科です。一般消化器外科とは腹部の手術が必要な疾患はほとんど対象です。消化器癌(胃癌、大腸癌)、肝胆膵癌、虫垂炎、胆嚢炎、胆管炎、痔など多岐にわたります。その中で、特殊専門外来として今年1月より『ヘルニア外来』を開設致しました。ヘルニアは一般外科手術の中で最も多い疾患であり、成人の約5%の発症率といわれています。現在でも手術しか治療法がないもので、決して放置したり、薬で治ることはありません。ヘルニア外来を開設することにより、より多くの方にヘルニアという病気を認識していただき、思いあたる症状があった場合に受診していただければと考えております。

【ヘルニアとは】

一般にヘルニアときいてイメージするのは整形外科領域の疾患で、腰痛の原因となる椎間板ヘルニアだと思えますが、この疾患は他科領域です。対象外です。外科領域のヘルニアとは、そけいヘルニア、腹壁ヘルニアになります。腹壁ヘルニアとは術後の傷から腸が飛び出してしまう状態ですので、外来患者様の多くは『そけいヘルニア』になります。

『そけい(鼠径)ヘルニア』とは

足の付け根(そけい部)が、瘤のようにはれ、腸が出ていることが多いことから俗称『脱腸』といわれている疾患です。小児でも成人でもおこる疾患です。

【症状は】

最初は立ち上がった時や腹圧がかかった時に、足(太もも)のつけね(そけい部)に柔らかい腫れを自覚しますが、仰向けになるとこの腫れが消失します。そけい部に痛みや違和感を自覚することも

【原因は】

成人の場合、加齢によりそけい部の筋肉が弱くなるのが原因と考えられています。だからといって、筋肉を鍛えれば治ると考え、筋トレをする方がいますが、これは逆効果です。腹圧がかかり、より腸が突出してしまいう可能性がります。腹圧のかかる仕事(重いものを持つ仕事、立ち仕事)をしている方に多い印象があります。男性に多い傾向がありますが、女性にもおこります。

【治療は】

繰り返しになりますが、治療は手術しかありません。カントンの危険性を考慮し、より早期に手術するのが望ましいです。

外そけいヘルニア

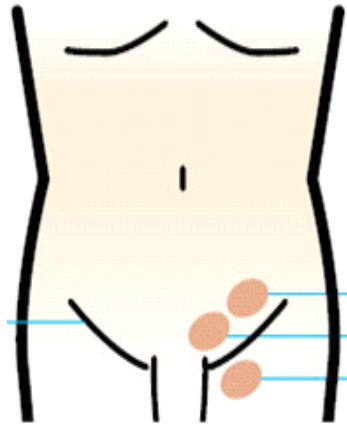
外側から出てくるヘルニア。そけいヘルニアでは一番多いヘルニアです。

内そけいヘルニア

内側から出てくるヘルニアです。

大腿ヘルニア

じん帯よりも下から出てくるヘルニアで出産を多く経験された痩せ型の女性に多く見られます。



あります。これを無治療で放置すると、カントン状態といって、突出した腸が戻らないうつ血し、腸が壊死してしまう可能性があります。この場合には緊急手術が必要になります。従って、ヘルニアは診断がつき次第、治療(手術)を行うのが一般的です。

【原因は】

成人の場合、加齢によりそけい部の筋肉が弱くなるのが原因と考えられています。だからといって、筋肉を鍛えれば治ると考え、筋トレをする方がいますが、これは逆効果です。腹圧がかかり、より腸が突出してしまいう可能性がります。腹圧のかかる仕事(重いものを持つ仕事、立ち仕事)をしている方に多い印象があります。男性に多い傾向がありますが、女性にもおこります。

【治療は】

繰り返しになりますが、治療は手術しかありません。カントンの危険性を考慮し、より早期に手術するのが望ましいです。

一般的な治療はそけいを切開し、突出している腸や腹膜をおなかの中戻し、穴を塞ぐ手術が安いです。穴を塞ぐには体に害のないメッシュの人工物シートを使います。基本的には全麻で行い、手術時間約30分から1時間程度

です。



【当院では】

①局所麻酔

本来は全身麻酔で行う手術ですが、全身状態が悪く(例えば心臓病、呼吸器疾患など)全身麻酔が困難な方には、膨潤局所麻酔という方法があります。この方法はそけい部にだけ麻酔薬を注射するいわゆる局所麻酔で、完全に手術が可能です。健康な方でも、この方法であれば、歩行で手術室から病室まで戻ることができ、日帰り手術も可能です。この麻酔法は茨城県内で行って

る施設はほとんどありません。実際、当院では全身状態が悪く、他院で手術不能と放置されていた何人かのヘルニア患者様に対し、この方法で手術を成功させております。

②腹腔鏡手術

さらに、腹腔鏡によるヘルニア手術も行っております。これは全身麻酔でしかできませんが、傷が小さく(5~10mmの傷を3カ所)、そけい部に傷をつくることなく行うことができ、美容的、術後疼痛の軽減に優れています。東日本ではまだまだヘルニア手術を腹腔鏡下に行っている施設は少ないのが現状です。(茨城県内ではおそらく当院だけ?)しかし、メリットが多い術式と考えており、当院では今後も積極的に行っていく予定です。

【最後に】

そけいヘルニアは、場所が足のつけねということから、恥ずかしいと感じ、受診をためらったり、何科を受診したらいいかわからないといった意見を聞きます。しかし、この記事を読んだら、もしくは読んでから聞いていただき、ヘルニアという疾患を認識し、気軽に外来を受診していただき、良質な治療により生活の質の向上に手助けができれば本望です。

☆ヘルニア外来

診察時間

毎週水曜日 午前

(受付午前11時まで)

担当医

外科医師 岡崎 雅也

〜7月集団指導のご案内〜

☆減塩教室(第3木曜日)

午後2時〜 第4会議室

19日

『工夫しておいしくたべよう! 減塩食』

管理栄養士

☆糖尿病教室(第1、4金曜日)

午後3時〜 第4会議室

6日

『食事療法、3日坊主を卒業しよう!』

管理栄養士

13日

『糖尿病とくすり』

薬剤師

20日

『糖尿病とは... 原因・症状・合併症など』

内科医師

27日

『糖尿病と検査値』

臨床検査技師

〈公開市民講座のお知らせ〉

会場/地域医療研修センター講堂

日時/7月3日 15時〜

『手のしびれと痛みを来す』

整形外科疾患について

整形外科医師 西浦 康正

日時/8月3日 15時〜

『ご存じですか? 病理診断』

〜意外と身近な病理検査〜

研究検査科長 近藤 譲

〈公開看護講座のお知らせ〉

会場/地域医療研修センター講堂

日時/7月26日 10時30分〜

『家庭でもできる食中毒予防』

感染管理認定看護師

菅野 勝司

予約の必要はありません。

お気軽にお越しください。